

美味しい梅をもっと知つてもらうには

▲越生小学校
渡辺陽菜乃 議員

問 私は、越生町の美味しい梅を知つてもらうために月1回配布される広報の表紙に、越生町の美味しい梅についてまとめたミニブックを作り、そのミニブックを表紙の端に付けることを提案します。

答 ご提案をいただいた越生町の美味しい梅を多くの方に知つてもらうためのミニブックについては、現在、梅農家さんたちで構成されているJAいるま野越生支店梅部会などで組織している「越生町梅産地を元気にする協議会」で現在「まるごと1冊越生の梅」と題したミニブックを作成しているところです。このミニブックは、「越生べに梅」の紹介をはじめ、梅を使ったメニューと食べられるお店や、梅を使ったおすすめレシピなどを掲載する予定です。このレシピの中には、上野東にある「清和学園高等学校」の生徒の皆さんが考案したレシピも紹介します。このミニブックが完成したら様々な場所で美味しい梅の宣伝に活用するほか、町のホームページにも掲載します。

ふれあいの場、越生町

▲越生小学校
富口菜乃佳 議員

問 今、越生町では、地域の人と関わる機会があまりなく、人ととのつながりが少ないという問題があります。

そこで私は、地域の人とのふれあいフェスティバルを提案します。

答 近年、日本人の寿命が延びたことも関係して認知症の方が増加しています。残念ながら、認知症を完治する治療はありませんが、社会活動へ参加することや周りの人とコミュニケーションを図ることは、認知症予防のためにとても大切なことです。

町では、「こどもフェスティバル」などを開催し、多くの世代の方に来場していただいています。また、児童と高齢者との交流の場として、夏祭り等の催し物を開催しています。このような交流が深まることで、信頼関係が作られ、日常的な助け合いの意識が強くなります。ご提案のクイズ大会などは、脳の活性化に役立つほか、幅広い世代の方が楽しく参加することができます。今後も人と人がつながる機会ができるように努力していきます。

本をふやして

▲越生小学校
松本彩加 議員

問 今、越生町には図書館が1か所あるのみで、蔵書の数も少なく、特に新しい本を読みたいと思ったときにとても不便を感じています。どうしても読みたい本は購入するのですが、購入するためには近隣の市町の書店までいかなければならず、子どもだけ出かけるのは不可能です。

そこで私は、図書館に最新の本を取り入れるための仕組みづくりを提案します。

答 町立図書館の蔵書は約7万5千冊、うち児童書は約2万冊です。新刊は毎週選定し、新刊コーナーや広報で紹介しています。読みたい本が貸出中や図書館にない場合は、「予約・リクエスト制度」を活用してください。また、埼玉県立図書館や他の立図書館などから借用し、貸出したり、新たに購入したりしています。

ご提案いただいた「おすすめの本紹介ポスターコンクール」は、多くの人が本に触れあう大変良い提案ですので、参考にさせていただき、お客様からの声を反映した「おすすめ本紹介コーナー」などの設置を検討していきます。

令和7年度 越生町 こども議会

令和7年12月16日(火)に越生町役場議場において町内小学校6年生の全児童を議長・議員役として「こども議会」が開催されました。

議長を梅園小学校の菅井あやめさんが務め、代表6人のこども議員による一般質問が行われました。

こども議員の生活体験に基づいた町政に対する意見や要望が発表され、新井町長をはじめ、町執行部が真剣に答弁を行ないました。



▲梅園小学校 菅井あやめ 議長

「エコ推進宣言」を発議し、賛成全員で可決されました。

提案者
越生小学校 島野琥士郎さん提案者
梅園小学校 高橋 椿さんおこせまち
越生町こども議会
エコ推進宣言

エコ推進は、未来の私たちの暮らしを守るために欠かせないものです。緑豊かで、みんなが笑顔で過ごせる越生町を目指し、環境にやさしい行動を広げることを、ここに宣言します。

- 私は、限りある自然を大切にし、無駄を減らす社会をつくります。
- 私は、ごみを正しく分別し、リサイクルを進める地域をつくります。
- 私は、地球にやさしい未来を作るため、自分から行動を始めます。

そのために

- 私は、つか捨てを減らすために、マイバックやマイボトルを使ったり、給食を残さず食べたり、学用品を最後まで大切に使ったりします。
- 私は、ごみの分別をしっかりと行い、リサイクルに協力します。
- 私は、学校や地域の清掃活動に込んで参加し、美しい町を守ります。

令和7年12月16日(火) 越生町こども議会



賛成全員で起立している様子